

ESG 経営のさらなる推進

中長期目標策定のプロセス

ESGにかかわる中長期目標は、「社会要請の把握」、「社会要請の整理・優先付けと目標の策定」、「目標の妥当性確認と決定」の3つのステップで策定しています。

継続的に実施しているステークホルダーとの対話から社会要請を把握した上で(Step 1)、事業にかかわるESGの課題を洗い出し、中長期目標を策定しました(Step 2)。策定した目標は、ESG 関連投資家と対話で目標の妥当性を確認し、グループ経営戦略会議で最終決定しました(Step 3)。

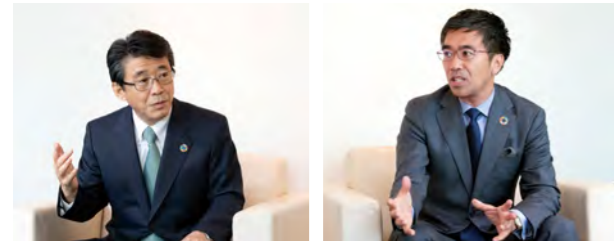


ステークホルダーとの対話による社会要請の把握

中長期目標の策定にあたり、ANAグループに対する社会からの期待・要請を把握するため、ESGにかかわる有識者の皆様と対話を実施しました。

▼ 詳細はウェブサイトをご覧ください。
<https://www.ana.co.jp/group/csr/communications/discussion/>
<https://www.ana.co.jp/group/csr/communications/dialogue/>

SDGsに関する対話



ANAホールディングス(株)
代表取締役社長
片野坂 真哉

慶應義塾大学 大学院
政策・メディア研究科教授
蟹江 憲史氏

ESG 関連投資家との対話

参加機関

- Hermes EOS (Hermes Equity Ownership Services)
- CHRB (Corporate Human Rights Benchmark)



© Caux Round Table Japan

環境に関する対話

参加機関

- 世界自然保護基金 ジャパン (WWF ジャパン)
- コンサベーションインターナショナル(CI) ジャパン
- IATA JAPAN



© Caux Round Table Japan

ビジネスと人権に関する対話

▶ 詳細はP.59

参加機関

- デンマーク人権研究所
- 人権ビジネス研究所
- WBA (ワールド・ベンチマーキング・アライアンス)



© Caux Round Table Japan

経営レベルでの議論

中長期目標については、当社社長を議長として常勤取締役・監査役で構成されるグループ経営戦略会議にて議論し、策定しました。

グループ経営戦略会議では、対話などで把握した社会要請や、当社サステナビリティ推進部を中心にオペレーション部門などの関係部署で洗い出した事業にかかわるESGの課題について、経営理念のもと事業や社会に与えるインパクトを考慮し、議論しました。

グループ経営戦略会議での議論状況

2019	7月	• 最新の社会動向・投資家動向把握
	8月	• ANAグループに対する社会からの期待・要請の把握 • 事業にかかわるESGの課題の提示
	11月	• 社会要請を踏まえたANAグループのESG目標の提示
2020	2月	• 目標の再整理と推進体制の提示

ステークホルダーとの目標の確認

グループ経営戦略会議で策定した中長期目標の妥当性を客観的に確認するため、社会要請の把握を目的に対話したESG 関連投資家と再度対話を行いました。目標の妥当性・今後の情報開示などについて、ご意見をいただきました。

対話したESG 関連投資家

- Hermes EOS (Hermes Equity Ownership Services)
- CHRB (Corporate Human Rights Benchmark)

中長期目標の決定

ESG 関連投資家との妥当性確認を踏まえ、グループ経営戦略会議で改めて議論し、中長期目標を決定しました。決定した中長期目標は、取締役会へ報告しています。

取締役会での意見

- CO₂の総量削減という世の中の流れと並行して、単位当たりの削減も努力していくべき。
- ESGはヨーロッパ主導であるが、そのまま踏襲する訳でなく、日本の価値観を反映し是非々でバランスをとっていくべき。